Panasonic

パイプファン　工事説明書

給気形（本体電源スイッチ付 手動式シャッター付 給気清浄フィルター付）

用　途	居室用
品　番	FY-CL08PS8D

工事説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」は、施工前に必ずお読みください。
・工事説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

仕様変更・改造は絶対にしない
火災・感電・けがの原因となります。
（分解禁止）

交流100ボルトで使用する
火災・感電の原因となります。

メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける
漏電した場合、火災の原因となります。

⚠ 注意

浴室など、湿気の多いところに取り付けない
感電の原因となります。
（水場使用禁止）

天井には取り付けない
落下により、けがをするおそれがあります。
（禁止）

本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する
落下により、けがをするおそれがあります。

本体と壁面との間にすき間が生じないように取り付ける。
結露水が発生して家財などをぬらす原因となります。

本体は指定の方法で確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

配線工事は、電気設備技術基準や内線規程にしたがって、確実におこなう
誤った配線工事や、電線のかみこみなどがあると漏電、感電や火災のおそれがあります。

部品は確実に取り付ける
落下により、けがをするおそれがあります。

お願い

■高温になる場所（周囲温度40℃以上）に取り付けないでください。
製品の変形やモーターの寿命を縮めます。

■台所など、油煙の発生する場所に取り付けないでください。
部品の破損の原因となります。

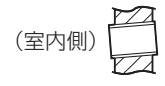
■次のような配管工事はしないでください。
風量低下や雨水浸入の原因となります。

（1）極端な曲げ

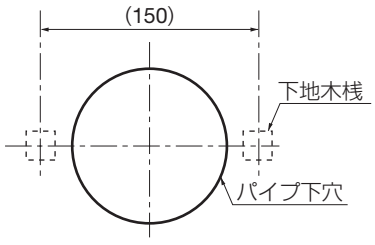
（2）多数回の曲げ

（3）接続ダクト径を小さくする

（4）壁埋込パイプを室内に傾斜させる



■パイプファンを石膏ボードに取り付ける場合は、下地木桟または市販の石膏ボード用アンカーを使用してください。
振動が発生する原因となります。

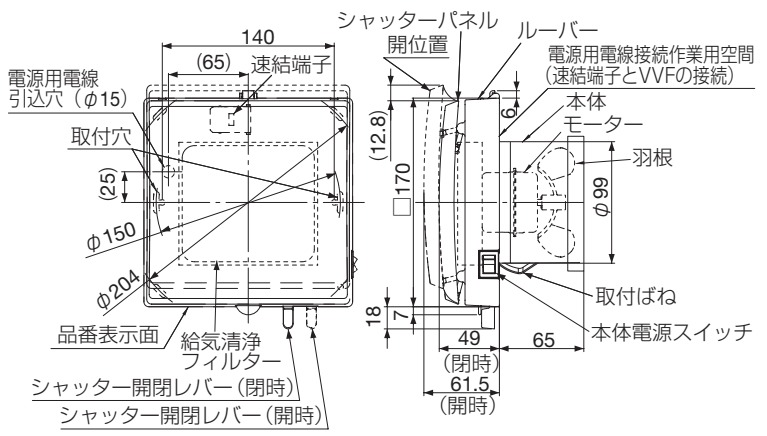


単位：mm

■アルミフレキダクトには取り付けないでください。
※やむを得ない場合は、本体の取付ばねを取りはずして、必ず付属のねじ（2個）で固定してください。
※取り付け時、ダクトの変形、羽根あたりに十分注意してください。

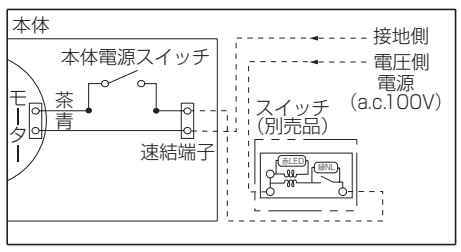
■冬期に強運転したり、外気温が−5℃以下で室内温度が高い場合（室温20℃、相対湿度50%以上）には本体の表面や内部に結露が発生することがあります。

各部の名前と寸法　単位：mm

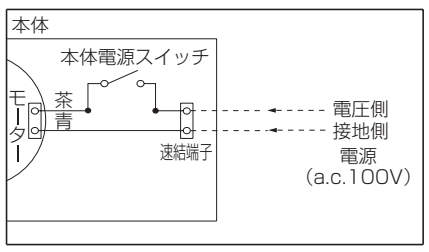


結線図

＜電源スイッチの場合＞



＜電源スイッチなしの場合＞



■スイッチを使用する場合、FY-SV05WC,FY-SV05W（別売品）をご使用ください。市販のパイロットランプ付きのスイッチには、消費電力10W以下の製品ではパイロットランプが点灯しないものがあります。

お願い

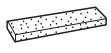
この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

末尾の数字は数量をあらわします。

ねじ（本体裏面に付属）……2
（本体固定用）

パッキン ……1
（風漏れ防止用）



取付部材

■別売の省施工パイプセット（FY-PAP041）をご使用になることをおすすめします。

パイプセットをご使用になる場合は、パイプセットに付属の工事説明書を参照願います。

■この換気扇は次のパイプに取り付けることができます。

	適用パイプ（呼び径）	外　径	内　径	下穴径
φ100タイプ	FY-PAP041	φ110	φ107	φ110
	VP100	φ114	φ100	φ115
	VU100		φ107	
	FY-KP04	φ103	φ100	φ105

●VPパイプやFY-PAP041に取り付ける際には、取付ばねをはずしてください。

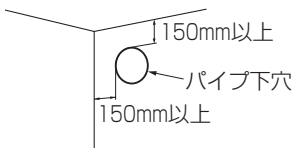
■取扱説明書は必ずお客さまにお渡しください。

施工方法　以下の手順にしたがって施工してください。

取り付けかた

1　パイプの取り付け

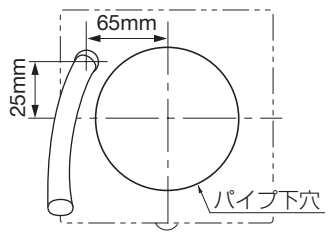
①取り付け場所を決める。
「安全上のご注意」を参考にして取り付け位置を決め、パイプ下穴を開けてください。



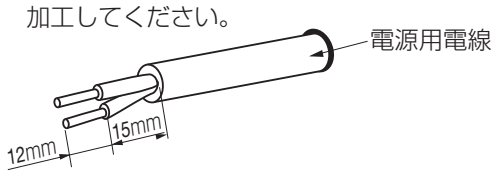
下穴径は、使用するパイプにあった穴径を選んでください。

・本体の取り付け位置が天井面・壁面に近づくとホコリが付着するおそれがありますので、150mm以上離してください。
・交通量の多い道路沿いなど、ホコリの多い周囲環境で使用する場合は、天井面・壁面まで200mm以上離して設置してください。

②壁面に穴（φ10mm）をあけ、電源用電線（VVFφ1.6mmまたはφ2.0mm）を壁面の穴より引き出す。

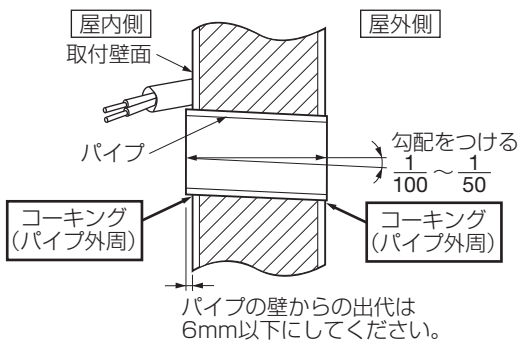


■電源用電線の先を下図のように加工してください。



パイプセットをご使用になる場合は、パイプセットに付属の工事説明書を参照願います。

③パイプを壁厚に合わせて切断し、壁に埋め込む。
パイプは必ず取り付け、取付壁面にコーキング処理を施し、パイプがぐらつかないよう確実に固定してください。



④外壁面には、パイプフード（別売品）ベントキャップ（別売品）を取り付ける。

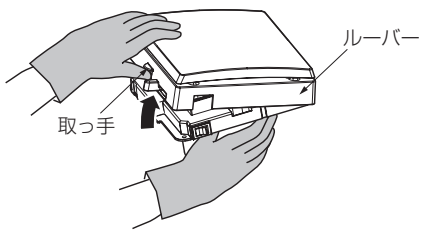
■パイプフード・ベントキャップの施工方法は、それぞれの工事説明書をお読みください。

特に薄壁（壁厚115mm以下）の場合は、薄壁に対応できるパイプフードまたはベントキャップを選定してください。
パイプフードまたはベントキャップが、換気扇本体にあたらないように施工してください。

■ダクトは必ず屋外側に下り勾配を設けてください。
雨水の浸入や結露水の逆流の原因になります。

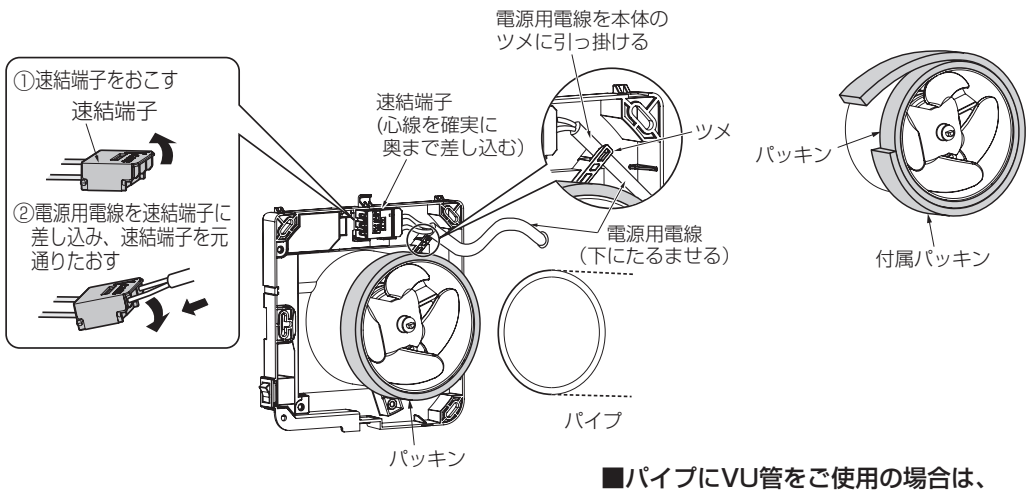
2　本体の取り付け

①ルーバーをはずす。
(1)ルーバー下面の取っ手に指を引っ掛け、
(2)手前に引いてはずす。



②フィルターを取りはずす。

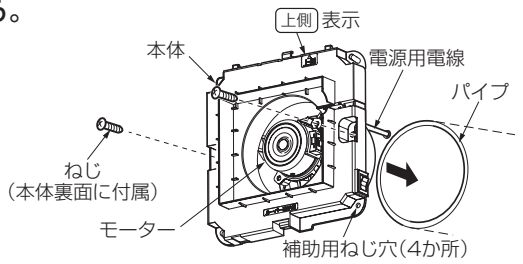
③本体裏面の速結端子に表面の（結線図）にしたがい電源用電線を確実に差し込む。



■パイプにVU管をご使用の場合は、付属されている風漏れ防止用のパッキンを、本体に貼ってあるパッキンの上から貼ってください。

お願い
■電源用電線は速結端子より下にたるませる。（速結端子内への水の浸入防止のため）

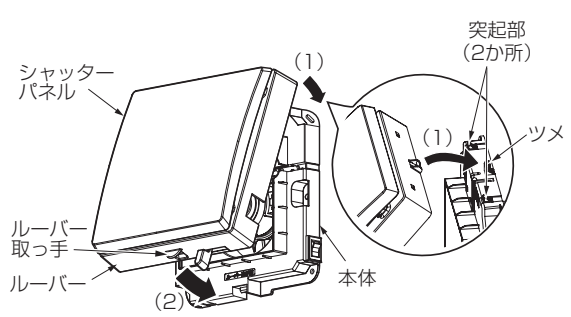
④本体をパイプに差し込み、固定する。
■本体は「上側」表示を上にして取り付けてください。
部品落下や電源接続部へ結露水浸入のおそれがあります。
■本体と壁面の間にすき間が生じないように、本体を押し込んでください。（冬期の本体背面の結露防止のため）
■必ず付属のねじ（2個）で固定してください。
■付属のねじ2個だけで固定できない場合は市販品のねじ（推奨ねじ：タッピンねじ（φ4×35　1種））で補助用ねじ穴を使用して固定してください。
■VPパイプやFY-PAP041に取り付ける際には、取付ばねを取りはずしてください。

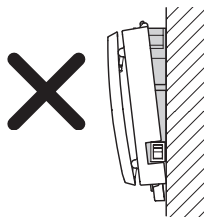


お願い
本体を横向きまたは下向きに取り付けないでください。

⑤フィルターを取り付ける。
取扱説明書をご覧ください。

⑥ルーバーを本体に取り付ける。
(1)ルーバーを本体上部中央のツメに引っ掛け、突起部（2か所）のルーバー側の穴に合わせる。
(2)壁面に当たるまでおろす。
(3)本体を横から見てルーバーが傾いていないかを確認する。

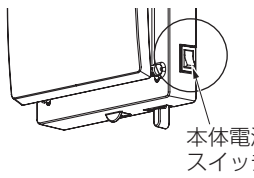




図のようにルーバーが傾いて取り付いていませんか?
ルーバーは本体の上部中央のツメに引っ掛けてから、確実に設置してください。

3　試運転

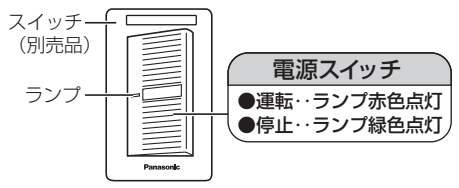
■運転方法
本体電源スイッチを「ON」にし、電源スイッチ（別売品）を「運転」にして運転し、異常がないか確かめる。
■シャッターパネルが確実に開いていますか？
■異常な振動・騒音がありませんか？
■確実に給気をしていますか？



本体電源スイッチ

ON	運転するとき
OFF	停止するとき

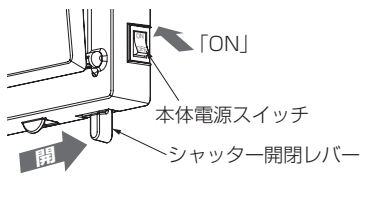
電源スイッチ（別売品）の操作



(FY-SV05WC、FY-SV05Wの場合)

※スイッチに付属の「24時間換気お願いラベル」をスイッチまたはスイッチの近くに貼ってください。
※本体電源スイッチを「OFF」にして、電源スイッチを「停止」にしても、電源スイッチのランプがうすく緑色点灯することがありますが、異常ではありません。
本体電源スイッチを「ON」にすると、正常に点灯するようになります。

■シャッター開閉レバーの操作



※シャッターを閉じるときには、「カチッ」と音がするまで確実にシャッター開閉レバーを「閉」の位置に操作してください。外風が侵入するおそれがあります。

パナソニック株式会社
パナソニック エコシステムズ株式会社
〒486-8522　愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番　TEL(0568)81-1511

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2013

CL08PS841 D-P0813-0